

いちのみやの 社会福祉

2012

No.22
6月号

発行 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

福祉のまちづくり



一宮市社会福祉協議会は傾聴ボランティア活動で被災地支援をしています(岩手県大船渡市にて)

もくじ

- ・平成24年度事業計画・予算額 2・3
- ・平成24年度主な事業内容 4
- ・支会活動・車イスドクターズ 5
- ・ボランティアセンター事業・ボランティア募集・
ボランティア養成講座 6・7
- ・福祉車輛等貸出し・おもちゃ図書館 8
- ・東日本大震災義援金のお知らせ・善意のご寄付 9
- ・生活福祉資金貸付事業・心配ごと相談所 10
- ・ケアマネジャーだより 11
- ・福祉体験作文コンクール優秀作品 12
- ・福祉善行児童・生徒表彰 13
- ・編集ボランティアのページ 14・15
- ・障害者スポーツ大会のご案内 16

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 事業計画

基本方針

我が国の経済環境は未だ厳しい状況にあり、それに伴う雇用喪失は、家族機能の低下や貧困をもたらし、人と人とのつながりの希薄化や单身世帯の増加と相まって孤独死の増加など無縁社会が顕在化してきており、これらの問題を解決していく社会システムの構築が望まれているところである。

ればなりません。このような考えを基に、地域住民の多様なニーズに対応し、信頼されるサービスの提供を行ってまいります。

介護保険・障害福祉サービス事業につきましても、民間事業所の増加による競争の激化等によりますます厳しい状況下にあります。引き続き「特定事業所加算」のとれる体制の整備を図りつつ、効率的な事業の実施により経営の安定を図りながら、研修体制を充実し、一層きめ細かな居宅サービスの向上に努めてまいります。

日常生活自立支援事業につきましては、認知症高齢者、知的障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスの周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。

こうした中、地域福祉の中核的な推進機関である社会福祉協議会の役割はますます大きくなっていきます。そのため、行政をはじめ関係機関、民間諸団体等と一層連携を強め、きめ細かな地域福祉活動の推進とネットワークづくりを目指し、市民が健康で生きがいを持てる福祉社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。

日常生活自立支援事業につきましては、認知症高齢者、知的障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスの周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。

一方、東日本大震災から1年が経過し、被災地における福祉ニーズは多様化してきています。がれきの撤去作業から始まり、個人宅の被災荷物の片付け、仮設住宅からの転居の手伝い、さらに心のケアなど、依然として被災地域外からの支援が必要とされている中、被災地の復興を図る支援活動を行ってまいります。

また、今年秋完成予定の一宮駅前ビルに総務課部門の移転を予定しております。駅という利便性を活かし、社会福祉の広報啓発や情報の発信源となり、市民に身近な社協を目指すとともに、ボランティアセンター事業の拡充を図るほか、市民の安心を支える「相談支援」や「心配ごと相談」等、相談業務をますます充実し、地域福祉の増進を目指した諸活動を積極的に推進してまいります。

日常生活自立支援事業につきましては、認知症高齢者、知的障害者等判断能力が十分でない方の金銭管理や書類等の預かりサービスの周知に努め、制度の積極的な活用促進を図ります。

また、今年秋完成予定の一宮駅前ビルに総務課部門の移転を予定しております。駅という利便性を活かし、社会福祉の広報啓発や情報の発信源となり、市民に身近な社協を目指すとともに、ボランティアセンター事業の拡充を図るほか、市民の安心を支える「相談支援」や「心配ごと相談」等、相談業務をますます充実し、地域福祉の増進を目指した諸活動を積極的に推進してまいります。

また、今年秋完成予定の一宮駅前ビルに総務課部門の移転を予定しております。駅という利便性を活かし、社会福祉の広報啓発や情報の発信源となり、市民に身近な社協を目指すとともに、ボランティアセンター事業の拡充を図るほか、市民の安心を支える「相談支援」や「心配ごと相談」等、相談業務をますます充実し、地域福祉の増進を目指した諸活動を積極的に推進してまいります。

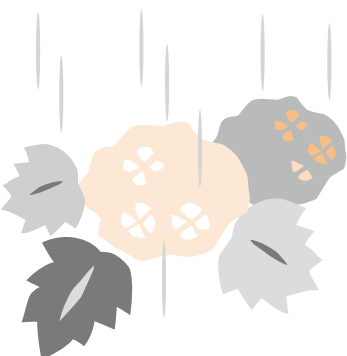
重点目標

1. 支会事業・活動の充実と法人経営の安定化基盤の確立を図る。また、定期的に各支会が情報交換の出来る場を設けると共に、地区社協の先進地への視察等を通じ、支会活動の一層の活性化を図る。
2. 被災地支援として、若手県大船渡市内のみなし仮設入居者世帯への傾聴ボランティア訪問活動を実施する。

3. 日常生活自立支援事業では、利用者の増加に伴い処遇困難なケースも増加傾向にあり、職員の専門性の一層の向上に努め、福祉サービスの質の充実を図る。

4. 地域福祉の主要な担い手として期待されるボランティアの養成と活動の推進に努める。特に、青少年に対するボランティア意識の高揚と福祉教育の一層の推進を図る。

5. 介護保険事業及び障害福祉サービス事業について、引き続き特定事業所加算のとれる体制の整備を図り、質の高い介護サービスの提供に努める。

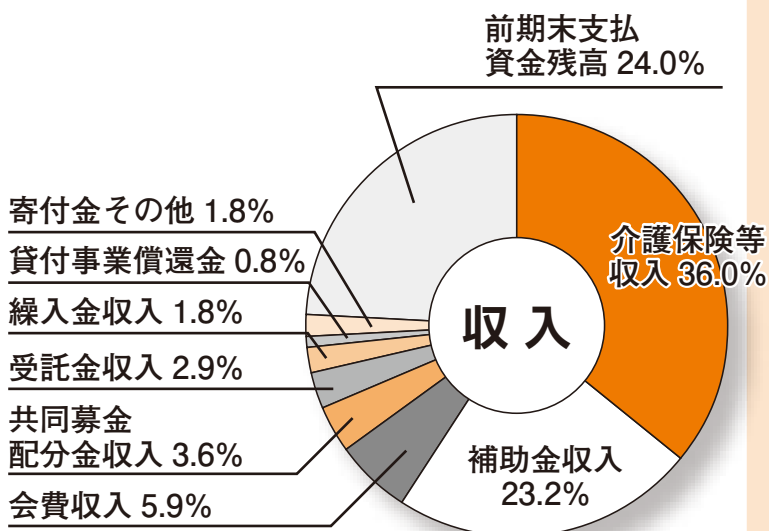


平成24年度 一般会計予算額 909,421,000円

収 入

(単位：千円)

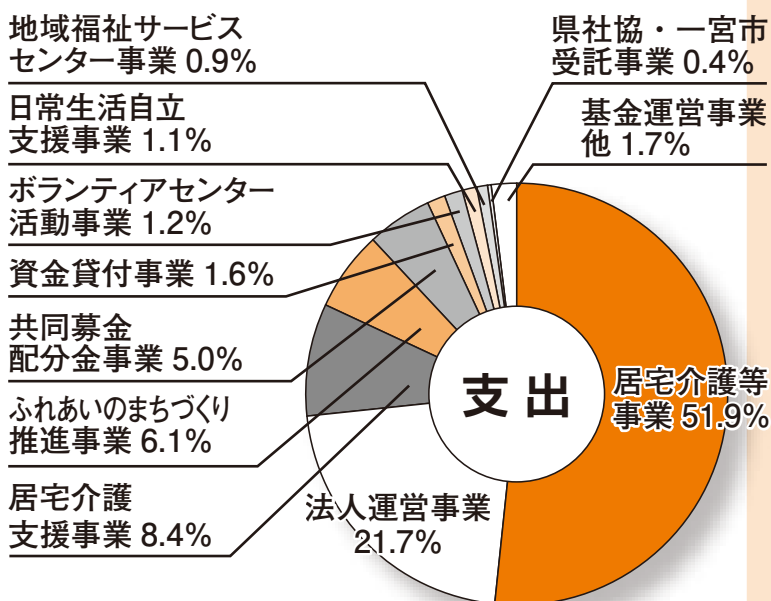
| | |
|-----------|---------|
| 介護保険等収入 | 327,196 |
| 補助金収入 | 211,177 |
| 会費収入 | 53,384 |
| 共同募金配分金収入 | 33,020 |
| 受託金収入 | 26,449 |
| 繰入金収入 | 16,446 |
| 貸付事業償還金収入 | 7,200 |
| 寄付金その他 | 16,729 |
| 前期末支払資金残高 | 217,820 |
| 合 計 | 909,421 |



支 出

(単位：千円)

| | |
|----------------|---------|
| 居宅介護等事業 | 472,416 |
| 法人運営事業 | 197,676 |
| 居宅介護支援事業 | 75,972 |
| ふれあいのまちづくり推進事業 | 55,653 |
| 共同募金配分金事業 | 45,235 |
| 資金貸付事業 | 14,183 |
| ボランティアセンター活動事業 | 11,172 |
| 日常生活自立支援事業 | 10,090 |
| 地域福祉サービスセンター事業 | 8,449 |
| 県社協・一宮市受託事業 | 3,295 |
| 基金運営事業他 | 15,280 |
| 合 計 | 909,421 |



平成24年度

社会福祉協議会の主な事業内容

本会では、地域社会の皆さんの福祉向上をめざし、安心して暮らせる豊かな福祉社会の実現に向けて、以下のような事業を推進してまいります。

●ふれあいのまちづくり推進事業

- ・市民総参加を基盤とした支会組織の充実強化
- ・支会を対象にした災害時支援モデル活動助成

●ボランティアセンター活動事業

- ・ボランティアの登録・あっせん
- ・ボランティア活動の啓発
- ・ボランティア団体の助成・育成
- ・ボランティア養成講座の開催
(手話・点訳・音訳・防災・ガイドヘルプ・傾聴・ボランティア入門・こどもボランティアスクール)
- ・福祉フェスティバルの開催

●共同募金配分金事業

- ・老人福祉活動
(敬老会、100歳慰問 ほか)
- ・障害児・者福祉活動
(おもちゃ図書館の運営 ほか)
- ・児童・青少年福祉活動
(福祉善行児童・生徒表彰、福祉実践教室 ほか)
- ・母子・父子福祉活動
(各関係団体への助成)
- ・福祉育成・援助活動
(岩手県大船渡市内のみなし仮設入居者世帯への傾聴ボランティア活動・広報紙発行・ふれあい・いきいきサロンリーダー養成研修 ほか)
- ・ボランティア活動育成事業
(ボランティアの地区活動推進・災害時に備え活動資機材の確保 ほか)
- ・歳末たすけあい配分金事業
(ひとり暮らし老人の歳末慰問)
- ・各種関係団体への助成

●居宅介護等事業

- ・指定訪問介護事業
- ・障害福祉サービス事業
- ・移動支援事業
- ・難病患者等ホームヘルパー派遣事業
- ・軽度生活援助事業
- ・育児支援家庭訪問事業
- ・シルバーハウジング生活援助員派遣事業

●資金貸付事業

- ・生活福祉資金
- ・小口資金
(くらし資金・生活資金・福祉金庫)

●居宅介護支援事業

- ・ケアプランの作成

●障害者相談支援センター事業

- ・障害者等からの相談に応じ、福祉サービスの利用に必要な情報の提供や、権利擁護のために必要な援助

●日常生活自立支援事業

- ・認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等への福祉サービスの利用援助や、日常的な金銭管理支援など

●地域福祉サービスセンター事業

- ・在宅介護等に関する相談、保健・医療・福祉の関係機関とのサービス調整など総合的な支援

●心配ごと相談事業

- ・市民の方の悩みごとの相談

●障害者スポーツ大会事業

- ・障害者(児)スポーツ大会を開催し、障害者の体力の維持、増強

●家族介護者等支援事業

- ・家族の介護者の支援

●視覚障害者パソコン教室事業

- ・目の不自由な方を対象としたパソコン教室

●各種貸出事業

- ・福祉車輛の貸出 ・車いすの貸出

●その他

- ・基金運営事業

社会福祉協議会の支会活動

本会では地域福祉の推進を図るため、市内23の連区単位に支会が組織されています。支会は住民から寄せられた会費を財源とし、地域にある様々な福祉課題やニーズを見つけ、問題解決に向けて住民が主体的に運営していく組織です。

メンバーは町会長、民生児童委員、各種福祉団体、ボランティアの代表者などで構成され、地域の実情に合わせた福祉活動を実践しています。

加入いただいた会費は下記のような活動を各支会で有効に活用されています。

主な活動内容は以下のとおりです。



三条支会 ふれあい事業の様子

<会費の種類>

- ・一般会員 1口 500円
- ・法人会員 1口 1,000円
- ※ 1口以上でご協力をお願いします。

(地域福祉活動)

児童・高齢者・障害者等の福祉団体の活動を支援し、同時に住民への福祉教育も充実させ、ボランティアを始めとする地域福祉の担い手を育成します。

(地域振興活動)

公民館活動、交通安全対策、防犯・防火対策、各種団体への助成などにより、地域の活性化を図り、福祉の向上に寄与し、住みやすいまちづくりを目指します。

(ふれあい事業)

ひとり暮らしの高齢者が孤独感、疎外感を感じることなく、潤いのある日常生活が送れるよう相互の交流を深める集いを開催します。

(見守りネットワーク事業)

高齢者・障害者などの孤独死、DV、子どもの連れ去りなどの社会問題を未然に防ぐため、関係団体が連携し見守り活動を実践します。

(敬老会事業)

多年にわたり社会の進展に貢献された高齢者に対し、敬愛と感謝の意を込めて敬老会を開催して長寿をお祝いします。

企業ボランティア活動

車椅子がリフレッシュ



豊田合成株の社員さんによるボランティアサークル、その名も『車イスドクターズ』主に尾張地域の老人ホームや病院において、車椅子の修理・点検等のボランティア活動をしています。社会福祉協議会では、去る4月14日(土)に貸出用車椅子が安心・安全にご利用いただけるよう、40台余りの車椅子を“診察”“治療”していただきました。



ありがとうございました



ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは、皆様の善意を生かすために、ボランティア活動を希望される方が積極的に参加できるように支援しています。ぜひボランティア登録をして、ボランティア活動に参加しましょう。

ボランティアの登録、斡旋

地域住民の方にボランティアとして活動できる内容を登録していただき、ボランティア希望者と受け入れ先の連絡調整をします。

ボランティアの啓発

福祉フェスティバル「みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”」を開催し、ボランティア活動に対する意識の高揚を図ります。

声の広報の発行

視覚障害者の方に市広報をテープに吹き込み、自宅まで送付します。

ボランティア保険の加入

活動中における万一の事故に備えて、ボランティア自身のケガの見舞金や第三者に損害を与えた場合の賠償金を補償する保険への加入をすすめています。



ボランティア養成講座の開催

地域福祉の重要な担い手として期待されるボランティアの育成を図るため各種ボランティア養成講座を開催します。

ボランティアに関するお問合せがありましたら、ボランティアセンター（一宮市社会福祉協議会内）までお気軽にご相談ください

里親ボランティアさん募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウィーク、お盆、年末年始の年3回です。

ボランティアさんとしてご協力いただける方は尾西支部（TEL 63-4800）まで

編集ボランティアさん募集!!

社協広報紙「いちのみやの社会福祉」（6月・10月・2月に発行）の紙面において、現在6名の方が「編集ボランティアのページ」で活躍しています。その方たちと一緒に活躍していただくボランティアさんを募集します。

福祉・ボランティア活動について企画・取材・編集し、「編集ボランティアのページ」で市民の皆さんにより近い視点からさまざまな情報を発信していただきます。

対象：市内在住・在勤・在学の高校生以上の方で、福祉・ボランティア活動などに興味がある方

活動内容：月1回程度の打合せ会議と取材・編集作業

申し込み：本部（TEL 24-2940）

※後日面接のうえ決定させていただきます。

募集人員：若干名

締切り：6月29日（金）

傾聴ボランティア養成講座

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 日 時 | 6月15日から6月29日までの毎週金曜日 午後1時～午後4時 (3回) |
| 会 場 | 一宮市社会福祉協議会本部 会議室 |
| 対 象 | 市内在住・在勤でボランティア活動に関心のある方 |
| 内 容 | 高齢者の気持ちに寄り添って、お話を聞く傾聴ボランティアを養成する。 |
| 定 員 | 30名 (抽選) |
| 受 講 料 | 無料 |
| 申 込 日 | 6月5日(火) 午後5時までに本部へ電話 (TEL 24-2940) |



手話基礎講座

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 6月20日から11月7日までの毎週水曜日 午後7時～午後9時 (20回) (8月15日を除く) |
| 会 場 | 尾西生涯学習センター 5階会議室B (一宮市役所尾西庁舎東館5階) |
| 対 象 | 市内在住・在勤の方で手話入門講座受講済の方又は、サークル等で2年以上活動している方 |
| 内 容 | 手話入門講座又はサークル等で経験のある方に対し、実際に聴覚障害者とのふれあいの場を設け、ボランティア活動につながるよう養成する |
| 定 員 | 20名 (抽選) |
| 受 講 料 | 1,470円 (テキスト代として) |
| 申 込 日 | 6月11日(月) 午後5時までに尾西支部へ電話 (TEL 63-4800) |

夏休み手話教室

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 7月26日から8月30日までの毎週木曜日 午後1時30分～午後3時30分 (5回) (8月16日を除く) |
| 会 場 | 一宮市高齢者生きがいセンター |
| 対 象 | 市内在住で小学4年生～中学3年生 |
| 内 容 | 夏休みに聴覚障害者の方とふれあい、「聞こえない」とはどういう事かを考え、コミュニケーションの方法の1つである手話を学ぶ |
| 定 員 | 20名 (先着順) |
| 受 講 料 | 無料 |
| 申 込 日 | 6月7日(木) 午前9時から木曾川支部へ電話 (TEL 87-2000) |

防災ボランティアコーディネーター養成講座

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 7月29日(日)・8月5日(日) 午前9時～午後5時 |
| 会 場 | 一宮市社会福祉協議会本部 会議室 |
| 対 象 | 市内在住で中学生以上の方 |
| 内 容 | 防災についての基本的な知識や行動力を身につけ、災害発生時におけるボランティアコーディネーターの役割などについて学ぶ |
| 定 員 | 40名 (先着順) |
| 受 講 料 | 無料 |
| 申 込 日 | 7月2日(月) 午前9時から本部へ電話 (TEL 24-2940) |



※ 受講者のうち希望者で、近隣の防災センター見学を後日予定しています。

開催予告

こどもボランティアスクール

ボランティアを始めるきっかけづくりとして「こどもボランティアスクール」を開講します。

開催時期：8月下旬の2日間 対象：市内の小学校に通学している小学6年生

※ 詳細については、市広報「広報一宮」8月号および、いちのみや子ども情報誌「キッズi」に掲載予定です

貸出しのご案内

◆車いす

利用できる方は…市内在住の車いすが必要な方

(介護保険給付対象者を除く)

貸出し期間…3ヶ月以内に返却(その後の更新不可)

料金…無料

問合せ…本部 (TEL 24 - 2940)

尾西支部 (TEL 63 - 4800)

木曾川支部 (TEL 87 - 2000)



子ども用車いすも貸出し中

◆福祉車輛

- *いとう号 3台 軽自動車・3人乗り(車いす1台含む)
- *ふれあいヘルプ号 1台 軽自動車・3人乗り(車いす1台含む)
- *たかし号 1台 ワンボックスタイプ・8人乗り
(車いす2台又は車いす1台とストレッチャー1台含む)

【利用できる方は】

- ・車いす等を必要とする方で市内に住所を有する方
- ・車いす等を必要とする方の親族で市内に住所を有する方
- ・市内の社会福祉協議会法人会員の事務所に勤務する方
- ・市内の福祉団体及び市内で活動するボランティア

【貸出し期間は】

原則2日以内です。貸出し、返却は午前8時30分～午後5時まで
(土・日・祝日・年末年始は除く)

【費用はいくら】

走行距離10kmまでは100円。それ以降は、10kmまでごとに100円加算。

【申し込みは】

いとう号(3号)、たかし号 ……本部 (TEL 24 - 2940)

いとう号(1, 2号) ……尾西支部 (TEL 63 - 4800)

ふれあいヘルプ号 ……木曾川支部 (TEL 87 - 2000)

※貸出し期間中に発生した事故等については、原則、利用者の責任で対応していただきます。



いとう号(1号~3号)、ふれあいヘルプ号



たかし号

おもちゃ図書館へ遊びにおいでよ!

「おもちゃ図書館」では、木のおもちゃ、手づくりの布おもちゃ、外国製のおもちゃなど、子どもが喜ぶおもちゃで自由に楽しく遊ぶことができます。

館内はボランティアの皆さんによって運営されており、温かく迎えてもらえますよ。

ぜひ、親子で遊びに来てくださいね。

おもちゃ図書館は、「おもちゃの城」と「なかよし」の2館ありますのでお気軽にご利用ください。

利用できる方 小学校入学前の子ども(保護者同伴)

利用料 無料



《おもちゃの城》

開館日時 毎週火・水・金曜日
毎月第2・第4土曜日(障害児対象)
いずれも午前10時～午後2時

場所 一宮市浅井町前野字西敷34
(ふれあいセンターめぐみ内)
TEL 52-0801

《なかよし》

開館日時 毎週月・木・金曜日
毎月第1・第3土曜日(障害児対象)
いずれも午前10時～午後2時

場所 一宮市丹陽町重吉字北屋敷380
(ふれあいセンターなごみ内)
TEL 76-1260

*祝日および年末年始は休館です。

おもちゃ図書館では、運営ボランティアさんを募集しています。
詳細は木曾川支部 (TEL 87 - 2000) または、各おもちゃ図書館へお尋ねください。

東日本大震災義援金のお知らせ

～皆様からの温かいご支援ありがとうございます～

一宮市共同募金委員会



| 期 間 | 金 額 |
|------------------------|-------------------|
| 平成23年3月14日～平成23年11月30日 | 3,730,784円 |
| 平成23年12月1日～平成24年3月31日 | 294,947円 |
| 総 額 | 4,025,731円 |

平成23年3月14日より受付を開始しました東日本大震災の義援金につきまして、皆様から温かいご協力をいただきました。紙面をもちまして心よりお礼申し上げます。

皆様からお預かりした義援金は、社会福祉法人中央共同募金会に送金させていただき、用途については、関係機関で構成された「義援金配分委員会」により被災者に配分されます。



被災地の一日も早い復旧・復興を願うとともに、義援金受付期間が平成24年9月30日まで延長されましたので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



善意のご寄付ありがとうございました

平成 23 年 12 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

| | | |
|----------------|-----------------------------|---------------|
| 尾張中小企業協会 | 一宮モラロジー事務所 | ユニー（株）アピタ木曾川店 |
| 西成ささゆり会 | 一宮市職員労働組合 | ユニー（株）アピター宮店 |
| エス・ビー建材（株） | チャーチル会 一宮 | ユニー（株）アピタ大和店 |
| 金剛プラザ幼稚園PTA | 故 富田 逸子 | ユニー（株）ピアゴ尾西店 |
| 安立 忠行 | 一宮北部少年野球クラブ | 起工業高等学校 生徒会 |
| 健康づくり | ギャラリーモンベール | 財団法人 浅井積徳会 |
| 一宮興道高等学校 生徒会 | ユニー（株）ピアゴ妙興寺店 | グラウンドゴルフ葉栗若葉会 |
| 木曾川商工会女性部 | 尾西モラロジー女性クラブ | 森島 順逸 |
| 一宮地区労働組合連絡会 | グラウンド・ゴルフ 尾西クラブ | 岐阜信用金庫 |
| 木曾川町資源を守る会 | 呉 小蓉 | 匿名 17件 |
| 公益社団法人 中部日本書道会 | 料理の会・ニコニコ会・和の会・ 楽しいクッキング | (敬称略・順不同) |
| いちい信用金庫 宮西支店 | | |
| 愛の募金箱設置店 | ユニー（株）ピアゴ伝法寺店 | |

合計 7,074,793円

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金は、他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯、障害者や日常生活に介護の必要な65歳以上の高齢者がいる世帯、生計中心者の失業等により日常生活の維持が困難となった世帯の自立更生を図る貸付制度です。

| 福 祉 資 金 | | 教 育 支 援 資 金 | |
|-------------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 福 祉 費 | 生業を営むために必要な経費 | 教 育 支 援 費 | 学校教育法に規定する高校・短大・大学等に修学するのに必要な経費 |
| | 技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費 | 就 学 支 度 費 | 上記学校に入学する際に必要な経費 |
| | 住宅の増改築・補修等に必要な経費 | 総 合 支 援 資 金 | |
| | 福祉用具等の購入に必要な経費 | 生 活 支 援 費 | 失業等で生活困窮となった世帯に対し、就職するまでの必要な生活費 |
| | 障害者用自動車の購入に必要な経費 | 住 宅 入 居 費 | 住宅手当支給対象者が、賃借契約を締結するために必要な経費 |
| | 中国残留邦人等にかかる国民年金保険料の追納に必要な経費 | 一 時 生 活 再 建 費 | 失業等により、新たに就業するために必要な支度費 |
| | 負傷又は疾病の療養に必要な経費及びその療養期間中の生計を維持するために必要な経費 | | 公共料金の滞納により、日常生活が著しく困難になる場合、その滞納分の支払いに必要な経費 |
| | 介護サービス、障害者サービス等を受けるのに必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費 | 不 動 産 担 保 型 生 活 資 金 | |
| | 災害を受けたことにより臨時に必要な経費 | 不 動 産 担 保 型 生 活 資 金 | 低所得で、世帯員全員が65歳以上の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産(土地)を担保に生活資金を貸付 |
| 冠婚葬祭に必要な経費、住居の移転等、就職の支度に必要な経費 | | | |
| 緊 急 小 口 資 金 | 医療費、介護費の支払等の臨時の生活費 | 要 保 護 向 け 不 動 産 担 保 型 生 活 資 金 | 世帯員全員が65歳以上の要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産(土地)を担保に生活資金を貸付 |
| | 給与等の盗難、紛失による臨時の生活費 | | |
| | 火災等の被災による臨時の生活費 | | |

※ 原則、連帯保証人が1名必要となります。(緊急小口資金、要保護向け不動産担保型生活資金は不要)その他、一定の条件がありますので、詳しくは、本部(TEL24-2940)までお尋ねください。

[上記の他、災害など不時の支出や一時的な収入減により、生活に困って見える低所得世帯への小口資金の貸付制度もあります。]

悩みごと・困りごとは心配ごと相談所へ **無料**

「心配ごと相談」は民生児童委員、「法律相談」は弁護士が相談にあたります。

心配ごとをもつ人なら誰でも、どんな問題でも相談ができ、相談内容等についてはすべて秘密ですのでお気軽にお出かけください。

| | 日 時 | 会 場 | |
|----------------------------|--|--------------|-----------------------|
| 心 配 ご と 相 談 | 毎週火・金曜日 午後1時～4時 (第1・第3火曜日除く) | 祝日の 場合は休み | 思いやり会館 3階 TEL 72-5052 |
| | 毎週水曜日 午後1時～3時 | | 尾西庁舎 東館4階 TEL 63-4800 |
| 法 律 相 談 | 毎月第1・第3火曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL 73-4363 | 祝日の 場合は翌週 | 思いやり会館 3階 TEL 72-5052 |
| | 毎月第2・第4水曜日 午後1時～4時 事前に予約必要 TEL 61-5511 | | 尾西庁舎 東館4階 TEL 61-5511 |



ケアマネジャーだより

— 介護保険の支援サービス —

今回は、地域密着型サービスについてお話しします。

高齢者の方たちができる限り住み慣れた地域での生活が続けられるように、身近な地域ごとにサービスの拠点が作られ支援されます。

「地域密着型サービス」は要介護1～5、要支援1・2の人のために地域の実情に合わせて市町村の裁量で整備されており、サービスを提供する事業所の指定や指導監督は市町村で行います。このため、原則としてこのサービスを利用できるのは、事業所がある市町村の住民です。

① **小規模多機能型居宅介護**(要介護1～5の人・要支援1・2の人)

小規模な居住系サービスの施設で、通いサービスを中心に利用者の選択に応じて訪問サービスや、短期間の宿泊サービスなどを柔軟に組み合わせて多機能なサービスが提供されます。

食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。

② **認知症対応型通所介護**(要介護1～5の人・要支援1・2の人)

認知症の人を対象に専門的なケアが提供されます。食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が日帰りで利用できます。

③ **認知症対応型共同生活介護**(要介護1～5の人・要支援2の人)

※要支援1の人は利用できません。

グループホームとも呼ばれています。

認知症の高齢者が共同で生活する住居で食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。



④ **地域密着型介護老人福祉施設**(要介護1～5の人)

要介護者を対象とする定員30名未満の小規模な介護老人福祉施設に入所し、入浴、排泄、食事などの介護、機能訓練が受けられます。

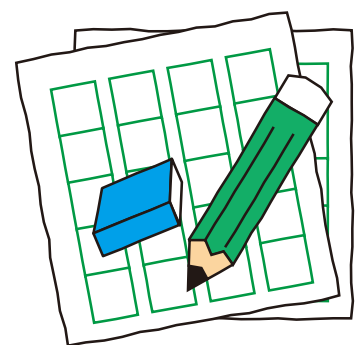
これらの地域密着型サービスについて詳しくお聞きになりたい方、利用するにはどうしたらいいのかお知りになりたい方は、介護保険を担当している市役所高年福祉課や地域包括支援センター、担当ケアマネジャー等にお問い合わせください。

利用される方の状態や希望に応じてわかりやすく説明や相談にのっていただけます。



平成23年度福祉体験作文コンクール優秀作品

愛知県社会福祉協議会の主催により、福祉活動やボランティア活動について児童・生徒から640編の福祉体験作文がよせられ、その結果、県内で25の優秀作品が選ばれました。一宮市からも今伊勢小学校3年の早川怜寿さん、朝日西小学校4年の可知英里香さん、大和南小学校6年の加藤小晴さんの作品が入選されましたので、その中から一編をご紹介します。（平成23年度の学年です。）



「いい気分」

一宮市立今伊勢小学校3年



早川 怜寿 れいじゅ

ぼくは、夏休みがはじまったばかりのある日、ふわふわしてうれしくて、しあわせな気分になりました。

夕方、お母さんといっしょに、夕ごはんのざいりょうを買いに、カネスエに行きました。お母さんが会計をしている間、ぼくはたいくつだったので、先に、商品をつめるつくえによりかかって、ポーッと立っていました。そ

したら、野さいやお肉がたくさ
ん入ったカゴをカートにのせ
た、しらないおばあちゃんが、ぼ
くのとなりをやってきました。

カゴをつくえにおこうとしてい
るとき、おばあちゃんは、
「重いのお。」
と、ひとりごとを言っています。

した。ぼくは、どうしようと、
まわりを見ました。まわりの人
は、商品をふくろに入れるのに

む中できがついていません。ぼ
くはまよったけどおもいきつて、
おばあちゃんのカゴをつかん
で、ドンッと音を立てて、つくえ
の上においてあげました。そし
たら、おばあちゃんが、
「ありがとう。」

と、言いました。そのときぼ
くは、ちよつといいことをして、
くすぐったい気もちになりました。

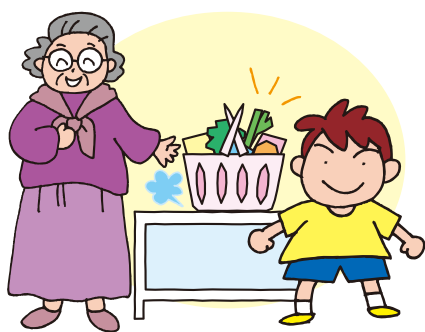
た。お母さんがお金をはらいお
わつて、ぼくのそばにきたので、
そのことを話しました。

つぎの日、朝食を食べている
ときに、お父さんが、
「おまえ、えらいなあ。」

と言ってくれました。そして
また、いい気分になりました。

国語じてんで、「ふくし」の言
葉のいみを調べてみると、「多く
の人のしあわせ」「こうふく」と
書いてありました。おばあちゃ
んから「ありがとう。」と言われ
てうれしかったし、お母さんや
お父さんからはめられた時も
うれしかったです。おもちゃを
買ってもらった時、おいしいもの
を食べた時、あそびにつれても
らった時とはちがういい気分だ
した。いい気分には、いろいろな
しゅるいがあるんだなあと思い
ました。

ぼくはまだ子どもだけど、子
どもでも人をたすけてあげれる
し、いい気もちになれるから、こ
れからも、気がついた時は自分か
らたすけてあげたいと思います。



平成23年度

福祉善行児童・生徒を表彰

福祉善行児童・生徒表彰は、学校生活・社会生活において、児童・生徒として福祉活動、ボランティア活動に積極的に参加し、その活動を通して、明るくあわせな地域社会づくりに寄与している児童・生徒を表彰しています。

今年で55回目を迎え、去る2月1日（水）尾西生涯学習センター大ホールで表彰式を行いました。



小学校の部



中学校の部

●被表彰者は、次の皆さんです(平成23年度の学校・学年です。)

<小学校の部 42名> (6年生)

(敬称略)

| 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 |
|-----|--------|-----|--------|------|-------|------|--------|
| 宮西 | 増富 寧々 | 丹陽西 | 伊藤 翔 | 千秋 | 入江 菜緒 | 三条 | 古井戸 怜菜 |
| 貴船 | 遠藤 洸希 | 丹陽南 | 赤佐 凌 | 千秋南 | 大楠 悠月 | 小信中島 | 右田 愛莉 |
| 神山 | 田中 瑞穂 | 浅井南 | 中村 文香 | 富士 | 山下 里佳 | 朝日東 | 小川 大地 |
| 大志 | 伊藤 実咲 | 浅井北 | 浅井 飛音 | 末広 | 南谷 美優 | 朝日西 | 平野 亜理沙 |
| 向山 | 村川 直也 | 北方 | 河村 唯花 | 西成東 | 岩田 怜久 | 開明 | 松本 健吾 |
| 葉栗 | 伊藤 美帆 | 大和東 | 酒井 里佳 | 今伊勢西 | 五明 紗恵 | 大徳 | 太田 あみ |
| 西成 | 酒井 麻優子 | 大和西 | 岡本 涼 | 葉栗北 | 伊藤 彩夏 | 黒田 | 服部 未沙 |
| 瀬部 | 大森 美里 | 今伊勢 | 柴田 卓也 | 大和南 | 仲村 杏純 | 木曾川西 | 三輪 明華子 |
| 赤見 | 平岡 小波 | 奥 | 堀井 舞香 | 浅井中 | 安田 花凜 | 木曾川東 | 吉田 智揮 |
| 浅野 | 脇田 貴斗 | 萩原 | 服部 文香 | 千秋東 | 西岡 華子 | | |
| 丹陽 | 三輪 佳恋 | 中島 | 扇谷 真咲菜 | 起 | 河野 瑞歩 | | |

<中学校の部 20名> (3年生)

(敬称略)

| 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 | 学校名 | 氏名 |
|-----|-------|-----|--------|------|--------|------|--------|
| 北部 | 森 達哉 | 丹陽 | 児山 弘昌 | 奥 | 高橋 優里花 | 尾西第一 | 伊藤 健一郎 |
| 中部 | 飯嶋 志帆 | 浅井 | 鷹見 直也 | 萩原 | 佐藤 愛来 | 尾西第二 | 森 莉奈 |
| 南部 | 足立 匠 | 北方 | 高野 優之 | 千秋 | 原田 晴華 | 尾西第三 | 佐藤 里奈 |
| 葉栗 | 渡辺 柚季 | 大和 | 大竹 彩江華 | 西成東部 | 西山 沙彩 | 木曾川 | 平田 智紀 |
| 西成 | 水谷 咲 | 今伊勢 | 中西 良 | 大和南 | 伊藤 佳穂 | 大成 | 大澤 将弘 |



～おめでとうございます～





編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森 勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、東丘美子、小池涼子

～ボランティア活動と免疫～

担当医師が、「あなたのボランティア活動が免疫を生んでいるかもね」とポツリと独り言を言いました。日常生活のことは、すべて細かく報告している私は「免疫」という言葉が気になり帰宅後調べてみました。要約すると「生体が疾病、特に感染症に対して抵抗力を獲得する現象であり、脊椎動物で特に発達」とありました。次回の通院の際思い切って聞いたところ、要するに「あなたのボランティア活動に対する姿勢が、病に対して抵抗力を生んでいるのでは」と言われました。

2003年8月、精密検査により悪性腫瘍の告知を受けた私は、放射線治療を続けた後、医薬を服用しつつ今日に至っています。最悪を覚悟の上で記した当時の日記を読み返しながら、いまこのキーワードを叩いています。私のボランティア活動は1997年・66歳の時から始まり、告知を受けた時には、既に5つのグループに所属し、72歳に達していました。重い告知を受けながらの活動は辛く苦しい時もありましたが、反面、病に負けてたまるかという挑戦欲が、活動を継続させてくれたと思っています。

そして、活動に余裕が来ると、また病のことが気に掛かるという悪循環に悩んだ末、肉体的活動を減らし、デスクワーク活動の場を増やし調整しました。行政の広報紙、福祉機関やNPO団体の機関紙などの寄稿や世論調査員などを含め、気がついた時には十指に余るほどになっていました。しかし、私はボランティア活動が免疫と関連しているとは思っていません。要は、どんな事でもいいので“病に隙を与えず、熱中できるものを持って挑戦する気概”がそう言わせただけだと思っています。昔から「病は気から」と言いますから。

介護初心者のレポート 4

今回は、もし自分が介護される側になったらどうなのか、ということを考えてみたいと思います。

自由にならなくなった身体、何かするにも人の手を必要としなければならない、それまで普通にできていたことができなくなった状況、これだけでも私だったら、周囲の人たちに当たり散らしてしまうような気がします。

また介護だけでなく、今の状態を少しでも改善させるための辛いリハビリ等にも、前向きに取り組む気持ちがすぐに持てるのか、それも正直疑問です。

今まで、自分が介護をするということについていろいろ書いてきましたが、逆の立場に立ったらいったいどうなのかということに、あまり考えてこなかったことに気が付きました。

指先のちょっとした怪我だけでも、日常生活に不便をきたすことがあります。まして、身体のあちこちがいうことをきかなくなったら…それを受け入れることに、きっとものすごく時間がかかることでしょう。

歳はだれでも公平に取ってゆきます。その際、元気でいられるかどうかは誰にもわかりません。人生のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)が、これでいいんだと思えるレベルになるために、自分の中で気持ちの整理をつけ、前を向こうという気持ちになるには一人ではなかなか進まないと思います。それを手助けし、励まし、やさしく見守り、時には厳しく助言してくれるような周囲の人々の協力なくしてはありえません。

健康なあいだは、誰も自分の価値観でものを決めつけがちです。わかったようなことも言いがちです。(私も含め)でも、自分の身体のどこかがうまく機能しなくなった経験は誰でも一回はあるはずで、それを今いちど思い出してみるのもいいのではないのでしょうか。

新しい家族がやって来た

私（30才）と弟（27才）による母（56才）の介護生活も早いもので二年半が経ちました。時には大変な事もありますが、家族3人『明るく、楽しく!』をモットーに日々を過ごしています。先日母が病気をして以来初めて『欲しいものがある』と言い出しました。それは何と…犬でした!

私と弟は仕事で日中家を離れる時間が長い為、寂しく退屈だから室内で一緒に遊べる小型犬を飼いたいとの事。

気持ちはわかるのですがお金もかかるし、何よりもこの慌ただしい生活の中でちゃんと世話をしあげられるのか正直自信がありません。

ダメだと伝えると母は泣きながら部屋にこもってしまいました。

更に翌日からは友人に頼んで動物保護センターに足を運び、何度も内緒で犬を引き取ろうとする始末…。

ついに根負けした私と弟は犬を飼う事に承諾しました。

ただし!条件付きです。

- ・出来る範囲での犬の世話、家事の手伝いをする事
- ・最後まで愛情と責任をもって大切に育てる事

そして母の誕生日に我が家に新しい家族がやって来ました。

よほど嬉しかったようであの時見た最高の笑顔は今でも忘れられません。

あれから数ヶ月経ちますが母は積極的に犬の世話をし、ついに最近では念願だった散歩も出来るようになりました。

(リハビリ頑張ったもんね!) 家事も少しずつですが出来る事が増えてきました。

犬を飼った事で母はもちろんですが、私自身や弟も良い影響を与えてもらっているような気がする今日この頃です。

まもなく季節は夏!今年も猛暑になるのでしょうか。どうぞ皆様もお身体を大切にお過ごし下さい。



ひとこと

~恐怖する「慣れって嫌だ」と呟いた 瓦礫の山に見慣れてしまい~

この短歌は仙台市で開かれた短歌のイベントに参加した、気仙沼市にある気仙沼高校文芸部の生徒の一人が、東日本大震災を主題に詠んだ一首です ◆震災発生後1年有余を経ても、なおうす高く積まれた瓦礫の山を見て詠まれたものです ◆毎日瓦礫の山を見ていると、根こそぎ奪われた深い傷の記憶も薄らいでいく自分に気付きふと呟いた。そして“慣れって嫌だ、見慣れることは恐ろしいことだ”と自分自身に言い聞かせています ◆純真無垢な高校生が紡ぎ出した三十一文字に込めた思いは、平成の世に対する防災の戒めとして忘れることの出来ない警句と思います ◆幸い本年3月には、国より瓦礫の広域処理方針が示され、全国の自治体による協力体制の動きがみえてきました。この短歌を詠んだ高校生の心にも「未来への希望の灯かり」が点いたのではないのでしょうか。

障害者スポーツ大会に参加しませんか？

障害のある方が体力の維持、増強に努めてきた成果を発揮し合い、スポーツを通じてお互いを理解し、健常者と共に楽しい一時を過ごしていくスポーツ大会を開催します。

一緒に楽しく運動して、心地よい汗をかきましょう！

日 時 7月1日(日) 午前10時～午後1時
会 場 木曽川体育館
対 象 市内在住の障害者・付添人
種 目 綱引き・玉入れ・大玉リレー・
車椅子競争・パン食い競争 他
参加料 無料
申し込み 6月11日(月)までに
本部(TEL 24-2940)へ



昨年の様子

社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会 本部

〒491-0847 一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL <0586> 24-2940 (代表) FAX <0586> 72-5022
ホームページ <http://www.138sk.org>

尾西支部

〒494-8601 一宮市東五城字備前12番地
(一宮市役所尾西庁舎東館4F)
TEL<0586>63-4800
FAX<0586>61-2970

木曽川支部

〒493-0001 一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
(一宮市高齢者生きがいセンター内)
TEL<0586>87-2000
FAX<0586>86-0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで